



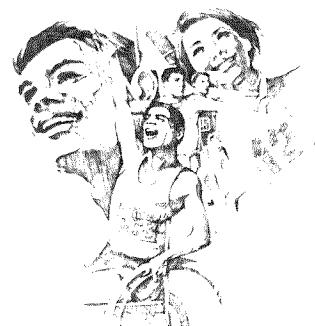
希望に失望する人間の心

第7回全国身体障害者スポーツ大会

昭和46年11月6日・7日

第7回身体障害者スポーツ大会
和歌山県実行委員会会長

大
考
正
文



身体障害者スポーツとは

大会のあらまし

競技会場 陸上競技……県営紀三井寺運動場

身体障害者のスポーツは相手との勝ち負けや記録の優劣を競うのではなく、自分自身の能力の最善をつくし、自分の可能性を知るスポーツです。相手に券つより自分にうち克つよろこび

大會期日 昭和40年12月6日(土)~7日(日)
参加者 全国の選手・役員・付添人 約二、〇〇〇人
県外心援者 約四、〇〇〇人

公園陸上競技場
車椅子競技…… 洋弓競技…… 卓球競技…… 黒立本体育館 野球場

を味わうスポーツなのです。
昭和三十九年に、意義深い大会として大成功のうちに終わった東京パラリンピックを契機に昭和四十年から、国体の開催地で、身体障害者のスポーツ祭典として全国身体障害者スポーツ大会が毎年ひらかれて います。そして和歌山大会は、第七回目になります。

主 催 県内觀覧者 約二六〇〇人
厚生省・日本本身体障害者スポーツ
ツ協会・和歌山県・和歌山市・
下津町・和歌山県身体障害者連
盟

競技種目

盲人卓球競技……県立体育館
水泳競技……県立室内プール
肢体不自由者、聴覚障害、視覚障害者が、それぞれの障害程度で組合わせをおこない競技します

スポーツといえば当然、競技の勝敗はつきものですが。だがこの大会に参加する人びとは、単に競技に勝つという目的だけでスポーツをするのではありません。

身体の障害を乗り越えて、不屈の精神力をつちかい、自分にうちかち、たくましく生きていく能力を見つけよう。そして、社会復帰という喜びの栄光を自力でかちとろう、とひたむきなのぞみをもつて大会に臨む人びとです。

いうなれば、希望にみちてたくましく明日への自立の力を競うスポーツの祭典、それが全国身体障害者スポーツ大会であります。

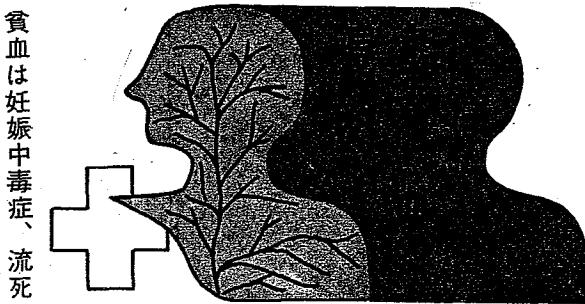
これを迎える私たち、いかにすべきかは、もはや今まで
もありません。「人間愛にみちた福祉県」という金字塔をう
ちたてることが私たちの大目標であります。その飛躍台とな
るのがこの大会の開催であります。黒潮国体とあわせて、記
念すべき県民の大行事として成功させたいと思います。
いま、関係者の総力をあげて、この受け入れ準備を着々と
進めています。しかし、なんといっても本大会の成功は、そ
れを迎える県民すべての暖かいまごころひとつに尽きると言
えます。全国の大会参加者とともに、「お互いが『やつてよか
つた』」と本当に喜び合えるように、美しい心のこもったスポ
ーツ大会にしたいと思います。

そして、県民のみなさん。こぞつてのさかんな拍手で大会
を成功させてくださいますようお願ひいたします。

7月16日…秋季大会まであと100日

みんなの国体 ひろがる親切

- 夏期大会／昭和46年9月5日～8日
- 秋季大会／昭和46年10月24日～29日

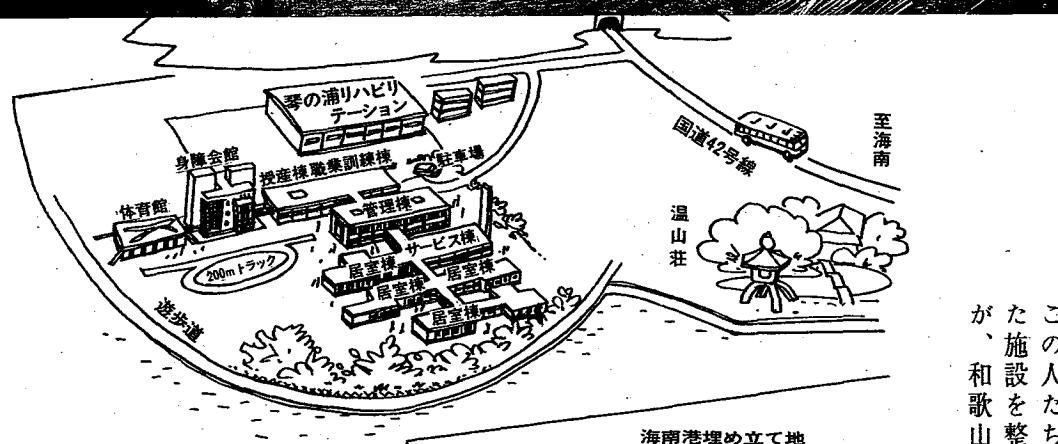


貧血は妊娠中毒症、流死
ために、ます。薄い血の追放
糸では、健康和歌山の実現の
おとしよりも、若者も、ご婦人
も、ちびっこも、誰でも気軽に
に車椅子も用意しています。
——テーマコーナー——

**県民コーナーで
おくつろぎください**
郷土のことを考える
対話の広場です



県勢が一目でわかるテーマコーナー



身体障害者福祉センター完成予想図

**身体障害者福祉センターが
もうすぐできます**

社会福祉の充実は、県政のいちばん大きい願いです。交通事故や災害の増加で、ますますふえつたる身体の不自由な人たち。この人たちの医療から社会復帰まで一貫した施設を整えた「身体障害者福祉センター」が、和歌山市毛見に建設されています。

この施設は、身体障害者の人たちの医療、訓練、保護、職業指導からスポーツ、作業施設まで完備。身体障害者の人たちの生活安定と社会復帰の場となるものです。

大阪、兵庫に次いで全国で二番目、もちろん、中小県ではトップをきっての建設です。特に臨接する琴の浦リハビリテーションの医療施設と連携し、いながら運営するといった例は、全国にも例がなく、関係者から期待と注目を集めています。

廊下幅も広く

今度完成するのは、身体障害者共生指導所、同相談所、義肢製作所の三施設と居室棟(とう)です。二施設とも、建物はすべて鉄筋コンクリートの平屋建てで、車椅子で楽に対向できるよう廊下幅を広くとつたりしてからだの不自由な方の行動能力をできる限り生かせるよう配慮しています。

第二次長期総合計画による昭和五十年の姿を見て、考えるコーナーです。

耳で聞く和歌山——

一種類の録音と八個のスピーカーで構成。円筒の下で立っているだけで、小鳥の声や鐘の音など「昔の紀州路めぐり」ができます。

耳で見る和歌山——

県鳥「メジロ」、県木「ウバメガシ」、高野山から新宮まで山や海辺の美しいスライド写真で構成。オーストラリアによる郷土の祭りシリーズも楽しめます。

「福祉県・和歌山」づくりへ

**福祉工場も建設
全施設完成は
48年の春**

この身体障害者福祉センター

は、昨年度から昭和四十七年度

までの三年年計画で、二千三百

平方㍍の敷地に、総事業費五億

六千万円をかけて建設するもの

引き続き、今年度から次のようにあります。

うな施設が建設されることにな

っています。

までの三年年計画で、二千三百

平方㍍の敷地に、総事業費五億

六千万円をかけて建設するもの

引き続き、今年度から次によ

うな施設が建設されることにな

消費生活

センターだより

☎(0734) 33-1551

“第4期木曜教室「メーカーに聞く」”

7月から9月までの毎週木曜日は、次のようなテーマで、各メーカーをよんで勉強します。(毎回午後1時30分から申し込みは当センターへ)

- 7月8日 洗剤と歯みがきの選び方
- 7月15日 大衆保健薬のきめ方
- 7月22日 清涼飲料水の選び方
- 7月29日 新しい電気製品の選び方
- 8月5日 牛乳とアイスクリームあれこれ

“移動消費生活センターがやってくる”

当センターでは各地を巡回し、ご相談や苦情をお聞きしたり、映画や講座などを実施しています。

- 7月8日 田辺市秋津町公民館
- 7月13日 粉河町公民館
- 7月20日 野上町公民館
- 7月27日 新宮市商工会議所

文化ニュース

県民文化会館

☎(0734) 36-1331

“松竹大歌舞伎”

片岡仁左衛門 中村雀右衛門 岩井半四郎ほか
7月26日=17時30分 7月27日=12時30分
特等 2,000円 1等 1,500円 2等 1,000円
学生、勤労青少年 500円

主な行事(大ホール)

- 7月14日 パーシィーフェース楽団 18時30分 2,500円 2,000円 1,500円
- 7月15日 労音 サマー・ポップスコンサート 18時30分 900円
- 7月22日 労音 雪村いづみリサイタル 18時 1,600円

近代美術館

☎(0734) 36-1331

- 7月8日～11日 和大絵画部2回生展
- 7月8日～12日 グループ「しつ」工芸展
- 7月15日～19日 第3回三光会日本画展
- 7月15日～19日 第3回絵画サークル「樹」展
- 7月15日～22日 萩フォトグループ展
- 7月24日～26日 第18回洗心書道展
- 7月29日～8月2日 県書道協会展
- 7月29日～8月2日 エトアール洋画展
- 7月31日～8月2日 星墨会展
- 8月5日～8月9日 美術館友の会展

博物館

☎(0734) 23-2467

(常設) 和歌山の文化財

入館料 一般50円 学生30円

電波で結ぶ茶の間と県政

テレビ「紀州アルバム」「紀の国」～国体めぐり～
四国テレビ 7月4日・11日(再)7:45～8:00
毎日テレビ 7月23日 7:15～7:30
ラジオ「広報アワー」「県政の動きとお知らせ」
和歌山放送(日曜日を除く毎日) 12:30～12:35

県事務所、市町村役場へ。
詳しいことは、県民生活室へ。

*花だんコンクールに
参加してください
参加部門 職場(会社、工場)
一般(個人、自治会など)
参加資格 個人の花だんは四
平方メートル以上、団体の花だんは十六
平方メートル以上、同一場所の数花
だんを一組として参加できます。
詳しいことは、県民生活室へ。

年金・手当

募

集

七月二十日 田辺市勤労青少年

ホーム

七月二十一日 那智勝浦町天満

支所

七月二十四日 那賀町図書館

七月二十五日 和歌山市教育文

化センター

七月二十六日 御坊市勤労青年少

年ホーム

七月二十七日 湯浅中央公民館

七月二十八日 橋本市民会館

詳細は、各地方教育事務所へ。

県教育委員会社会教育課へ。

●家庭の日作文・图画募集

種目 「家庭の日」について

の作文と图画

応募資格 県下の小、中学生

●家庭の日作文・图画募集

の作文と图画

応募方法 作文は四百字語原

稿用紙四枚以内、图画は四ヶ切

●家庭の日作文・图画募集

の作文と图画

応募方法 作文は四百字語原

稿用紙四枚以内、